



会に常 ドキュメント The 舞台裏

第18回

PSW(精神保健福祉士)のリアルな裏側をお見せします!

当院の舞台裏を潜入レポートする本企画。
今回はPSW太田さんの一日を密着取材しました。

PSW(精神保健福祉士)という職種をご存じだろうか?

精神科領域では言わずと知れた不可欠な存在だけれど、世間一般の人たちに訊いても「相談員さんのこと?」「カウンセラーとはまた違うの?」といった感じで、具体的なイメージを持ちにくい職業のようだ。

愛車のカブで登場!

朝8時過ぎに病院の正門でカメラ片手に待ち構えているところ、愛車カブに乗った太田さんが颯爽と登場。



颯爽かつ安全に登場!



駐車場まで完走!



全体朝礼の光景

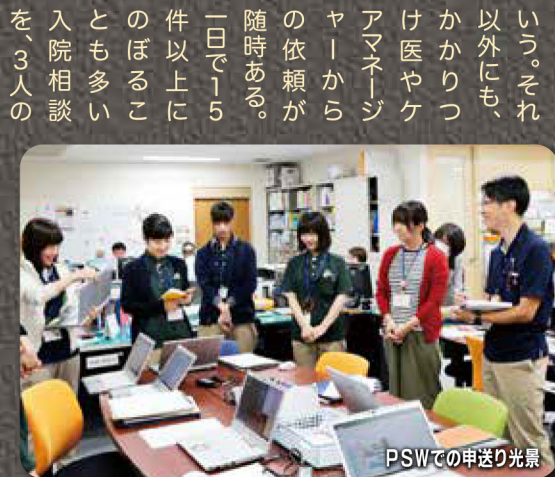
朝礼に臨む

定刻の朝8時30分、業務は全体朝礼から始まった。ここでは医事や外来の職員とともに、本日の入院予定や新患予定といった情報を共有する。病院が多職種で成り立つ

ですか?

一日に何件くらいの電話がかかってくるん

PSWで対応されているという。そんな申送りのときも太田さんの携帯(医療用PHS)は鳴りっぱなしだ。



PSWでの申送り光景

ていることを実感するひとときだ。その後はPSWだけで集い、入退院の結果報告を行ってから、届いている入院依頼の申し送りに移る。

日々舞い込む入院依頼は種々あるが、近年は認知症に関するご家族からの相談が増えているという。それ以外にも、かかりつけ医やケアマネージャーからの依頼が随時ある。

太田「外の施設やご家族からの電話は日に5件以上、院内の電話は20件以上になりますね」



ひっきりなしに鳴るPHS

太田

「食事の食べ方をもつとこういう風に工夫してほしいとか、退院に向けて作業療法にもっと参加していただきたいとか、結構いろいろお願いしてますね。患者さんのためには大切で必要なことですから」

担当されている患者さんは何名くらいなんですか?

太田「入院中の患者さんの担当は35件です。ただ、退院されてからも家族さんやご本人からの相談に乗ることが多くて、こういったケースで50件くらいはありますね」



病棟にて〜今から笑顔で病室訪問♪

相談や、他病院のケースワーカーからの打診、退院した患者さんのご家族からの相談などなど、本当にお忙しそうですね。

太田「今日の僕は病棟当番なので、これでもまだ余裕があるんですが、明日は入院受け当番なので、対応にかかりつきりになると思います」

朝の申送りの後は、病棟当番のごことで、担当している入院患者さんを順に訪ねて相談に乗ったり、その病棟に入院があれば診察に陪席したりする。必要に応じて看護師など病棟スタッフに患者さんへの関わり方についてお願